



高志小学校 学校運営協議会だより

令和3年
5月21日

5月17日、高志小学校において、第1回学校運営協議会が開催されました。また、会議前には、校内や授業の様子も参観していただきました。

今年度の運営協議会委員の皆様は、下記のとおりです。

No.	氏 名 (敬称略)	備 考 (職名等)
1	宮 越 誠 三	学校運営協議会長、後援会長、木田新田町内会長、保護司
2	吉 田 通 子	学校運営協議会副会長、PTA 会長
3	村 山 信 一	元後援会長、前学校運営協議会長、元高志小学校長
4	安 藤 知 子	上越教育大学教授
5	加 藤 祐 二	前後援会長、元新土橋町内会長
6	坪 井 秀 和	高志保育園長
7	西 脇 恒 二	藤新田町内会長
8	佐 藤 幸 治	春日地域青少年育成会議副会長、木田町内会長
9	市 川 優	新光町町内会長、春日区地域協議会委員
10	佐 藤 順 子	PTA 副会長
11	遠 藤 和 英	高志小学校長

協議会では、今年度の学校経営の基本方針や教育課程、年間行事予定等について説明し、ご理解とご承認をいただきました。また、当日の学校や子どもの様子も含め、特に以下の点についてご意見等をいただきました。

【子どもや学習の様子等について】

- ・朝、交差点で子どもたちの登校の様子を見守っているが、今年度は挨拶が格段によくなっている。学校を楽しみに登校しているのが伝わってくる。
- ・1～6年生まで、その学年に応じた内容や方法で授業が工夫されていた。高学年、特に6年生が落ち着いて学習に臨んでいた。
- ・ICT 機器と黒板を状況に応じて使い分けながら授業が進められていたことがよかった。
- ・5時間目ということで低学年に多少疲れた様子も見られたが、一生懸命に取り組んでいた。
- ・昨年度は黒板の下が汚れていた学級もあったが、今日はとてもきれいに清掃されていた。環境整備はとても大事である。
- ・先生方が落ち着いた口調（ゆっくりとあまり大声ではなく）で、わかりやすく話をされていてよかった。

【春日中学校区小中一貫教育について】

- ・中学1年生は、中学校生活をどのように感じ、考えているのか。1学期の終わり頃に、アンケート（入学当初戸惑ったことや、小学校時代にもっとやっておけばよかったことなど）をとり、それを参考にして連携や一貫教育を進めていくことも必要ではないか。
- ・昨年度、新型コロナウイルス感染症拡大対策で、小学校6年生の中学校の授業や部活動の体験・見学ができなかったことは残念。それでも高志小の6年生は入学前に春日中の校内を案内してもらえたことはよかった。入学前に中学校の雰囲気を味わうことも、小中一貫教育にとっては効果があると思う。

後半は、各学年主任が学年の教育活動（生活科や総合的な学習の時間の取組）について説明し、委員の皆様より以下のような貴重なアドバイスや情報をいただきました。

(1年生)

- ・子どもは、一人一人違うので、そこに対応しながら指導してほしい。
- ・子どもたちには、自信を付けてもらい、学習に意欲をもって臨んでほしい。
- ・動物の遊び場作りでは、材料を集めが課題。保護者にも広く呼び掛けていくとよい。

(2年生)

- ・畑づくり、野菜作りの活動が、大人になってから家庭菜園をやってみるきっかけになっているかもしれない。
- ・土づくり、畝づくりはとても大変。地域の方から協力いただけるのはありがたいことである。
- ・手をかけた苗は大きく育つので、自分を振り返るきっかけづくりとしてもよい活動である。
- ・冬の雪遊びは、妙高に行ってダイナミックな雪景色に触れることも大切。ぜひ体験してほしい。



(3年生)

- ・大学ができる前の「緑の小道」の様子や歴史や由来について知っている方がいる。その方から話を聞くことができると思うので、今後検討していくとよい。
- ・昔の暮らしぶりなど地域の様子について知っている方にも話を聞くとよい。

(4年生)

- ・昔の正善寺川についてよく知っている方がいるので、その方からお話を伺うとよい。生き物等の資料もある。
- ・木田3丁目の住人がクリーン活動を行っているし、学校の児童もごみ拾いをしているので、正善寺川は比較的きれいになっている。上流は、昔の面影が残っている。



(5年生)

- ・いろいろなことを知ることから始め、好きになり、活動を楽しめる子どもになってほしい。
- ・田植えと稲刈りだけのかかわりではなく、できるだけ田んぼに出向いてかかわれるとよい。
- ・「発酵」は地域の気候・風土と大きなかかわりがあることや、稲作が盛んなことと上越市の発展にも関連がある。それを知ることによって郷土を愛する気持ちへとつなげていけるのではないかな。

(6年生)

- ・平和学習の際、過去の歴史を振り返り、平和に向けて自分ができることを考えられる子どもたちだと、廊下の子どもの掲示物を見て感じた。
- ・地元の輝く人は、上越ケーブルビジョンの番組（過去に放送されたものも含め）が参考になる。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限されることも多々あると思うが、豊かな体験の場を大切に、感染症対策を図りながら、できる限りの活動をしてほしいと後押しをいただきました。活動に際し、地域でできることは全力で協力するという声もいただき、職員一同心強く感じました。

学校でも、学校運営協議会でのご意見等を受け、よりよい子どもの成長のために教育活動を充実・発展させていきたいと考えております。今年度も地域の皆様との連携を強く保ち、教育目標である「喜んで登校し、生き生きと学ぶ子ども」を育てていきます。家庭・地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。